

<参考資料> アンケートに寄せられた委員の皆様のご意見（全文）**1 審議の進め方について****<評価Aとした委員の意見>**

- ・ 言語障害部会でも、報告書の読み上げをやめ、各自の黙読としましたが、効率化（審議時間の短縮）につながったと考える。
- ・ 肢体不自由部会の審議件数も多くないので、一件当たり十分な審議時間も取れていたのが良かった。
- ・ 今年度から事務局案の作成や進行表の作成により、審議はとてもスムーズに進むようになり、とてもよかった。時間をかけて審議したい案件に十分に時間をかけられるようになり、審議件数の増加に対する今後の方向性が示せたと考える。
- ・ 事務局案があることで、審議時間にゆとりができ、十分に協議できた。専門員の方による事務局案の読み上げはなくとも、紙面確認で進行すれば、さらに協議時間が確保できる。
- ・ たいへん効率よく進められたと思います。時間をかけるべき審議については、しっかりと審議できました。
- ・ 事前の情報整理や進行表等の活用により、審議時間の短縮化の効果を実感した。
- ・ 今年度は、事務局案を作成していただき、大変スムーズに審議を進めることができました。おかげさまで、短時間で審議することができました。
- ・ 事前に事務局で実態を確認し、「事務局案」を作成していただき、審議時間の目安をお示しいただき、審議時間の短縮できたので助かりました。
- ・ 事務局案・進行表の作成により、時間を大幅に短縮することができた。
- ・ 初めて参加させていただきましたので、以前と比べることはできませんが、状況を把握しながら審議に臨むことができました。
- ・ 事務局案があり、1件あたりに要する審議時間が短縮された。
- ・ 事務局案を基にした審議により、審議の効率化を図ることができた。
- ・ 事務局案の作成により、スムーズに審議を進めることができた。
- ・ 資料がほとんど準備されており、すぐに内容の把握をすることができました。ありがとうございました。
- ・ 事務局案を基にした進行は、効率がよくスムーズに審議できた。
- ・ 事務局の方で丁寧に資料の道筋を立てていただき、とてもスムーズだった。
- ・ スムーズな進行でよかったです。
- ・ スムーズに運営することができたと思う。
- ・ 審議もとてもスムーズに進行していた。
- ・ 今年の方法は審議がスムーズで短時間で言うことができ、とてもよかったです。一方で、事務局の先生方のご負担はかなり大きいものになったと思います。事務局の先生方に感謝申し上げます。
- ・ 事務局の業務量が多くなったと思うが、当日の進行はスムーズであった。
- ・ かなり改善されてきていると思います。

<評価Bとした委員の意見>

- ・ 事前に事務局案が検討されていることもあり、審議時間を短縮することができた。とても効率的に進めることができたように思います。
- ・ 審議の進みが速いので、専門員の皆さんが資料の準備や進行、記録をするのが大変そうでした。専門員さんも役割分担をするとよいのかもしれませんが。（資料準備2名、進行1名、記録1名など）
- ・ 重複障害（知・病）がある場合、審議に工夫が必要であると思う。

<評価Cとした委員の意見>

- ・ 事務局案により審議時間の短縮や審議の効率化は図られたが、事務局案に審議が流される場面もあり、審議の充実度が薄れてしまった感がある。
- ・ 開始時間を早めて、その分回数を減らしてほしい。
- ・ 病虚弱部会にも進行表があったのでしょうか。あまり効果は感じられなかった。

- ・ 審議時間の短縮は図られたが、審議がやや希薄になった感がある。
- ・ 時間短縮、効率化という点では評価できると思います。しかし、事務局の負担が大きくなっていることが課題だと思います。

2 審議記録用紙について

<評価Aとした委員の意見>

- ・ 実態が審議に視点を置いた内容に焦点化されており、大変参考になった。
- ・ 記録用紙の改訂は、児童生徒の実態に基づいた審議の進行に役立った。
- ・ 判断に必要な項目がすでに整理されているため、速やかに審議を進めることができた。
- ・ 付帯事項を書くことができる点が、良かったと思います。付帯事項の強制力はどの程度でしょうか。各学校で取り組んでいただけたらうれしいです。
- ・ 審議要旨の欄が狭くなったが、今年度は昨年度同様にできるだけ詳しく書くように努めた。事務局が事後に合意形成を図る際、より少ない情報で足りるのであれば、次年度は減らすことも可能だと考える。事務局としてどの程度の内容を求めたいのか知りたい。
- ・ 児童の実態が、きちんとわかりやすくまとめてあって、活用しやすかったと思います。
- ・ 資料も分かりやすく安心して審議に臨みました。
- ・ 審議記録用紙について、分かりやすくまとめられており、よろしいかと思います。
- ・ 実態を掌握しやすく、審議しやすかった。
- ・ 分かりやすく有効な方法と思う。
- ・ 特に問題なし
- ・ 審議記録を直接目にする機会がないため、当初は改訂に気が付かなかった。専門員の皆さんの記録の読み上げの際に気づきましたが、分かりやすさとより客観性があり、良いと思った。
- ・ 記入用紙も整理され、とても分かりやすくなった。専門員の先生方も記入しやすくなった。
- ・ 専門員の方々が大変効率よくまとめていただいた、委員から見て記録しやすくなっているように見えた。
- ・ 毎回丁寧に形式に沿って担当の先生に記入していただいている。
- ・ 専門員の記録の取り方がとてもよかった。

<評価Bとした委員の意見>

- ・ 時間短縮、効率化という点では評価できると思います。
- ・ 実態の整理と審議経過が明確になっていたと思います。
- ・ 簡潔だと思う。疑問点も把握しやすかった。A3の大きさはやや扱いにくいですが、A4からの拡大の利点と老眼対策としてありがたい。
- ・ 内容のまとめを短文、箇条書きで、客観的記載ができるような工夫があってもよい。
- ・ 相談票と審議記録の項目の完全一致ができると、更に良いのですが…

<評価Cとした委員の意見>

- ・ 審議に要する時間に比して、学校が用意しなければならない資料が多すぎると思う。個別の指導計画等、学校にあるもの（入学後必要になる様式）を使うなど、もっと簡便にできないものか。

3 新就学児の教育相談等について

<評価Aとした委員の意見>

- ・ 保護者の願いがよく分かりました。子供の実態は、アーチル、保育所等の資料が揃っていれば十分だと思います。
- ・ 実態が審議に視点を置いた内容に焦点化されており、大変参考になった。
- ・ 面談からの資料には、詳細が記録されており、実態は把握しやすかったと思う。しかし、新就学児の審議は特に難しく感じた。
- ・ コロナ禍で、従来通りの新就学児の教育相談の実施が難しい中、事務局で、保護者との面談を実施いた

だき、大変わかりやすい審議資料を提示いただいたことに感謝しております。

- ・ 今、就学相談会が実施できない状況で、事務局の先生方には大変尽力いただきました。心より感謝いたします。保護者のみと限られた時間での面談は困難もあったと思います。ありがとうございました。
- ・ 事務局の方はとても大変だったと思います。お疲れさまでした。保護者の考えと対象児の実態がずれていた場合もあるので、所属園や、アーチルからの書類も確認後、必要があれば対象児を訪問して確認する必要があると考えます。
- ・ コロナ禍なので致し方なかったと思いますが、保護者のみの参加によって、幼稚園・保育園の資料内容とは異なっていて、”どちらが実態か” 分かりにくいところもあった。
- ・ 特に問題なし

＜評価Bとした委員の意見＞

- ・ 児童の実態を直接観察していないことのデメリットが少ないのであれば、今年度の方式を続けるとよいと思う。
- ・ 感染症拡大防止対策として、今年度は適切な判断だったと考える。保護者の見立てや在籍園の評価と、子供の実態に乖離がある場合もあるので、感染症が収束したならば、また以前のように子供同伴での教育相談が実施できるとよいと考える。
- ・ 保護者と所属園で子供の実態のとらえ方に違いがあったときに判断に迷った。
- ・ 通常配慮と自情適切とで判断に迷った際に、客観的な意見が聞けない難しさはあった。ほとんどの場合、最終的には事務局案を基に判断した。来年度入学した児童の学びの場への適応が順調であれば、この方法が妥当であったと判断できるのではないか。
- ・ 保護者のみの参加で、新就学児の実態の把握が客観的なものかわからない。

＜評価Cとした委員の意見＞

- ・ 新就学児の審議の際に判断の材料となる就学前施設作成の資料については、施設によって児の捉え方や表現が違う場合がある。(例えば、障害児保育等を受け、個別に対応できる職員が支援することにより生活のしづらさの軽減が図られているであろうケースについて、その児の生活のしづらさが述べられていないことがある。)資料の作成に際し、生活年齢を念頭に、どのような場面で困難さがあるのか、どの程度の支援が必要なのかが分かるように、記述してもらうことで、より適切な判断ができるものとする。
- ・ ①客観的事項(身長、体重、家族構成、聴力など)、②保護者の要望、③担任や担当の印象・意見を、必須のものとして付け足すものを明確にして、各事例でばらつきを少なくするとよい。
- ・ 病気の状態、医ケアの内容など病気に関する情報が少ないように感じた。
- ・ コロナ禍で夏休みがほぼないという状況では今回のような対応はやむを得ない。ただ、実態の把握において、保護者からの聞き取りや幼稚園・保育所からの資料だけでは不十分と感じた。これまでのように、実際に児童も面談に参加し、複数の教員による観察記録等があると更に良いと思います。
- ・ 子どもの様子を直接把握する方法を模索する必要は今後もあると思う。
- ・ 今年度は仕方なかったと思いますが、お子さんの姿が見られるといいと思う。
- ・ 今年度、本人の行動観察ができなかったことは致し方ないことだったと思うが、専門員が実際に行動観察をして作成した資料がない中で、保護者、就学前施設作成の資料のみに頼る審議は、本当に児の実態に即した判断ができたのだろうかかと不安が残る。
- ・ (コロナ禍のためやむを得ないが)専門員が実際に幼児を見ることができず、委員は文書のみを見て判断したが、これが適切な就学決定となっていたかどうかは今後の検証が必要だと思います。
- ・ LD 部会には関係なくどの程度の資料が分かりませんが、子供を見ていない状況なら、わざわざ事務局が面談したり資料を作成したりするのはとても負担が大きかったのではないか。場を検討するだけの就学支援委員会の在り方もそろそろ検討したらいいのではないか。

＜評価Dとした委員の意見＞

- ・ 専門員が相談に関わっていないため、児童生徒の実像が把握できない。書面だけでは微妙な障害像(特性)は分からない。

4 その他（自由記述）

- ・本市ではなく、就学に関する論争に終始する自治体の会議も知っており、本市は工夫し子どもの状態や意見をまとめており、うまく進めていると思っている。
- ・仙台市のこども未来局が実施している保育専門技術事業があります。令和2年度は69の幼稚園、保育所に大学等の教員が複数回訪問し、支援を必要とする幼児を見て担任と話している。これを就学支援委員会とうまく結びつけられないだろうか。同じ仙台市、同じ仙台市立小へ行くのだから。
- ・このアンケートは、資料の妥当性や審議の仕方を問うているのかと思うのですが、論点がずれるかも知れませんが意見として。就学支援委員会そのものが今の時代にマッチしているのか疑問を抱いています。審議件数も多くなり、すべてを委員会が把握することは事務处理的にも難しくなっているのでは？委員の人数×審議枚数分資料をコピーして作る労力も大変だと思います。仕事の高効率化や電子化などが進められる中、在り方そのものから見直してもいいのでは。就学支援委員会がない自治体もあると聞きますし、通級指導教室等が専門機関と直接やりとりしながら通級指導を展開している自治体もあるようです。もっと時代に合わせた方法を検討していく必要があるのでは？特に通級は学校の資料作成の手間や審議から開始までのタイムラグが大きく、しかもその支援を受けられる子供は、保護者の協力が得られる人に限られることも残念です。自校にない場合はさらに不利で、ふだんの授業時間が通学時間に割かれます。しかも小学生は他校の場合保護者の付き添いが必要となると、仕事をしている家庭ではますます利用しにくい制度です。全校どこにでもいるグレーゾーンの子たちを就学支援委員会というフィルターにかけるより、全校にリソースルームと専門の担当者がいて、専門家が巡回指導するような形などにならないかと思うこの頃です。
- ・事前に事務局で資料を作成し、事務局案を基に審議を進めることで、短時間でありながら子供の様々な特徴が理解でき、大変感謝している。一つ、（これは自分の反省点でもあります）資料だけで家庭や療育環境（療育力と療育態度など）を把握することはとても難しいと感じています。しかし、年齢が低いほど、審議に欠かせない情報だと思うので、子供が持っている特性と様々な環境との相互作用からの影響を確実に把握しながら、子供の学びの場と支援方法を考えていきたいと思っています。
- ・子どもの実態と保護者や所属園（校）、仙台市の特別支援教育の制度事案が絡み合うと、判断が難しくなった。仙台市に事業等について詳しい方が委員に入っていたので助かった。
- ・例年より円滑に審議が進められたと思います。ありがとうございます。新しく委員になられた方には、ある程度レクチャーがあるといいかもしれません。
- ・新就学以外の難聴児の場合、聴力のデータとして、純音聴力検査の結果だけではなく「語音聴力検査」の結果もあった方がよいと思います。
- ・（部会運営の）マネジメントの効率化を希望します。また、出席可能な委員により部会が構成されることを希望します。
- ・コロナ対応も含め、事務局の皆様の支えに心より感謝いたします。上記のとおり、本年度の取組の成果は確実に上がっていると思います。
- ・今年度はコロナ初年度ということで、やむなく事務局が担当したところが多かったと思います。来年度は、感染予防対策を行って、子どもの様子も観察できるといいのではと感じていました。
- ・毎回、ご担当の専門員の先生方に審議結果の作文をお願いする形になってしまい、申し訳ありません。判断の理由等、もっとわかりやすくお伝えできるよう努力したいと思います。
- ・委員、特に専門員の先生方の負担が大きく軽減されたと思う。事務局の先生方、ありがとうございます。
- ・これまでのご準備、ありがとうございます。支援会議では、他の委員の先生方のお話を伺え、自身も勉強になる経験となりました。
- ・毎年、膨大な審議案件の事務処理、お疲れ様です。障害のある子供たちの適正な就学のため、今後もご尽力ください。
- ・事務局での準備、ありがとうございます。
- ・事務局の皆様のご尽力で、円滑に、効率的に審議できたと感謝しています。
- ・初めてのことで戸惑う中、丁寧にご対応くださりありがとうございます。大変お世話になりました。
- ・日々、仙台市すべての小学校の特別支援の温かいご助言やサポートに特別支援教育課のみなさまに感謝

しております。自分ができることは微力ですが、お役に立ちたいと思つての日々です。今後ともよろしくお願いいたします。

- ・ 「事務局案」は、すばらしい改善策だと思います。事務局の皆様、ありがとうございました。
- ・ 教育相談票の提出について、各学校に対して、必要な資料や相談票の書き方等を周知していただけるとありがたい。就学支援委員会ぎりぎりになってアーチルに資料を請求するケースもあり、計画的に準備していただけるとありがたい。
- ・ 資料から得られる実態が把握しにくいものも若干あったように思います。（当該校の担当者の方が記入し、学校として市教委に提出しているはず）当該校には、特別支援教育課からご助言いただければ幸いです。
- ・ 感染症対策が必要な中、また会審議のスムーズな進行のために様々な工夫をしていただきありがとうございました。
- ・ 丁寧に資料を準備していただき、ありがとうございました。
- ・ 事務局、専門員の皆様には頭が下がります。本当にお疲れ様でした。
- ・ コロナ禍での1年間でしたが、今後の審議の方向性も示せた1年であったと思います。無事終了できたことは、原課長はじめ事務局の皆さんのご尽力のおかげです。委員、専門員の方々も含め、心より感謝いたします。
- ・ コロナ禍での短時間開催でしたが、あれほどの件数の審議ができたのは、様々な工夫と事務局の皆様が綿密に準備くださったおかげだと思います。ありがとうございました。
- ・ コロナ禍の中での支援委員会でしたが、1回目の委員会の時から、短時間の審議となるよう、いろいろと工夫をしていただいたおかげで、その後の委員会にも安心して参加することができました。小さなことですが、同じグループ内で、対面にならないように座席の位置をずらすなどして感染症の予防対策をしました。
- ・ 保護者への情報提供をしっかりしてほしい。保護者の中には鶴谷特別支援学校について全く知らない方もいた。また、アーチルは就学支援（指導）に関わる団体であるのか、明確にしてほしい。
- ・ 対面しての活動が難しい状況下で、様々な工夫をされた特別支援教育課の方々や事務局の皆様の苦労は相当なものであったと推察されます。本当にありがとうございました。
- ・ 校務のためなかなか出席できず申し訳ございませんでした。
- ・ 新就学の相談、資料作成事務局案の作成等、事務局の皆さんの負担がかなり大きくなっているのではないかと心配しております。
- ・ 事務局案の作成等、特別支援教育課の皆様には大変なご苦労があったことと拝察いたします。深く感謝申し上げます。
- ・ 担当の皆様、いつも適切な準備をしていただきありがとうございました。
- ・ コロナ渦への対応と配慮に加え、時間短縮や審議の効率化・焦点化のために事務局の方々に多大なるご準備をしていただいていること、感謝申し上げます。